

経営比較分析表（平成29年度決算）

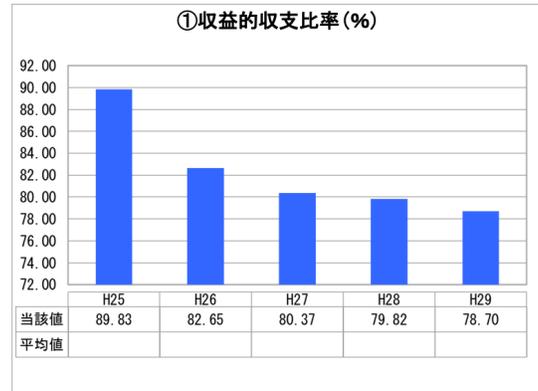
福井県 勝山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	11.99	86.44	2,732

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
23,756	253.88	93.57
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,827	1.64	1,723.78

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



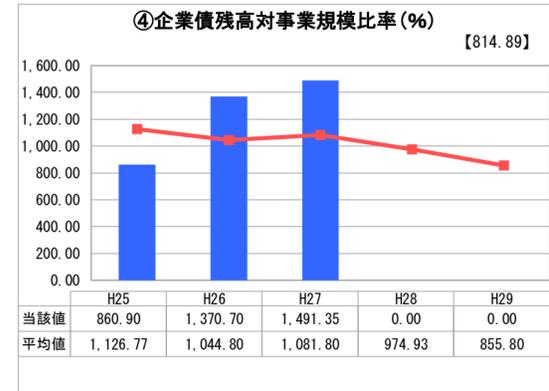
「単年度の収支」



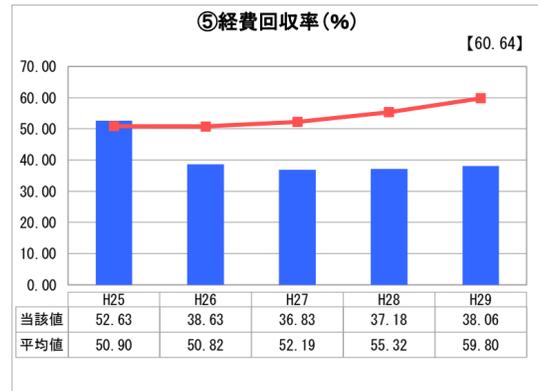
「累積欠損」



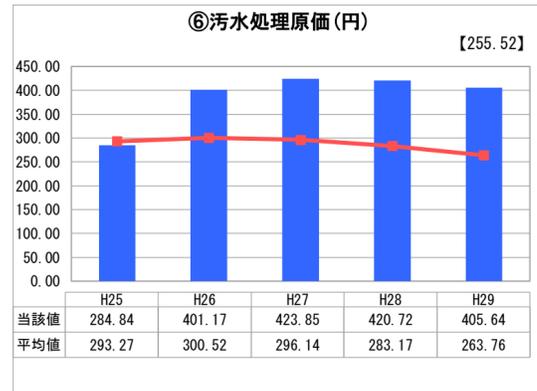
「支払能力」



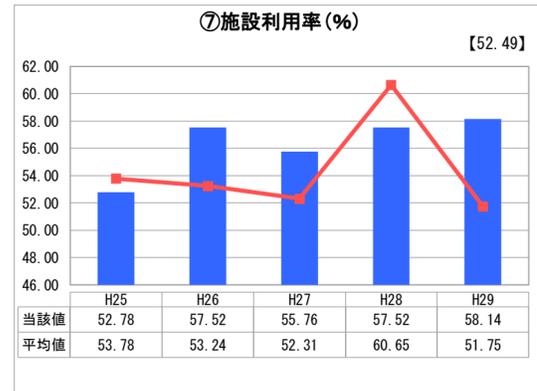
「債務残高」



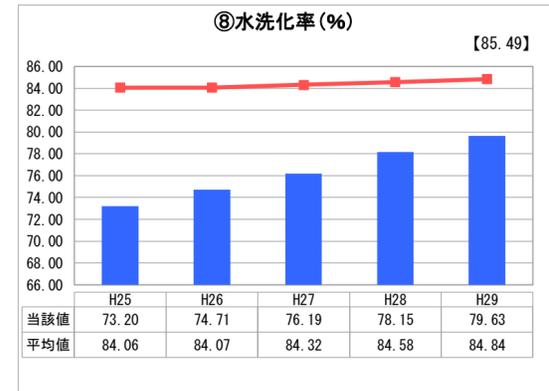
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

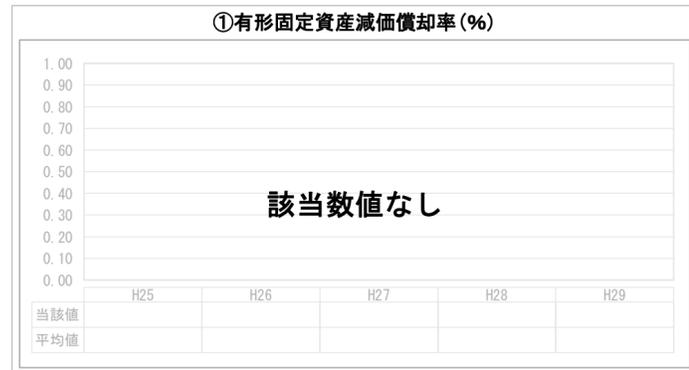


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

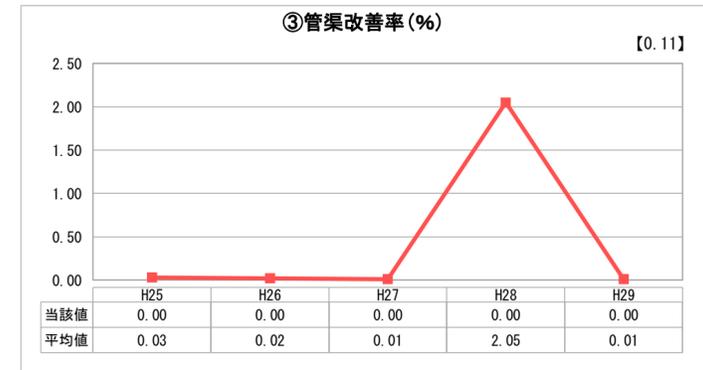
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①「収益的収支比率」について、費用のうち地方債償還元金が今後ピークを迎え、今後維持管理費が増えていく見通しである。また当該区域は人口が減少していくことが予想されるため使用料収入が減少することから、今後この比率は減少していくものと見込んでいる。

④「企業債残高対事業規模比率」は、料金収入に対する地方債残高の割合であるが、当市は、企業債残高は一般会計繰入金からの負担としており、0%となっている。

⑤「経費回収率」は、使用料は増加したものの、類似団体平均より低くなっている。これは農業集落排水の規模が小さく、料金収入と比較して維持管理費が高いことによる。

⑥「汚水処理原価」は、有収水量（料金の対象となる水量）1m³あたりの汚水処理に要した費用であるが、規模が小さく維持管理費のコストが高いことから、処理原価は類似平均より高い。

⑦「施設利用率」は、水洗化人口が増加したことにより微増している。

⑧「水洗化率」は、水洗化人口が増加している。水洗化率100%を目指して下水道接続促進を続けていきます。

2. 老朽化の状況について

③「管渠改善率」は、当市の下水道供用開始が平成9年のため、管渠も約20年程度しか経過していないため現在のところ、管渠の更新予定はありません。ただし、経年劣化による施設等の修繕が今後見込まれるため急激な費用が発生することがない様適切な維持管理に努め、費用の平準化を図ります。

全体総括

水洗化率が徐々に向上しているものの、経費回収率が全国平均と比較して低いことから、料金体系のあり方、維持管理の見直し、公共下水道への統合を含めた総合的な見直しを図りたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。